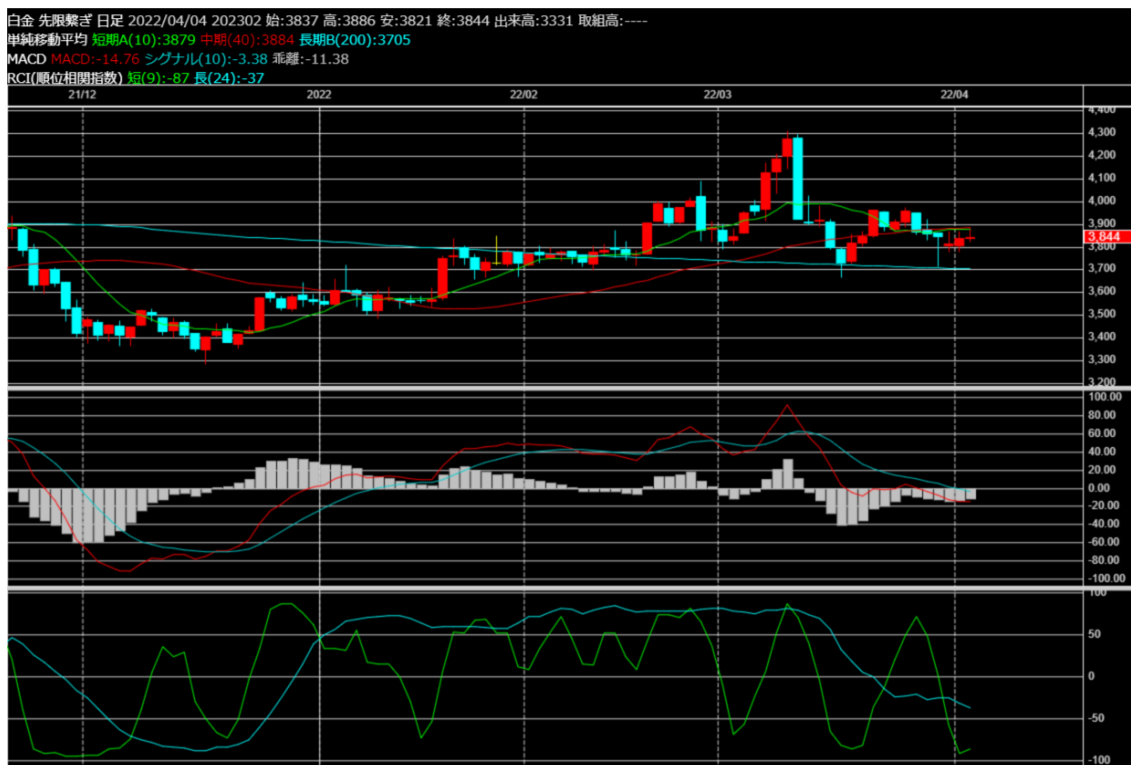


<白金標準先物、白金価格の見直し相場へ移行・・・>



(出所：オアシス)

昨年 7 月に中国国务院は、中国で最も消費するプラチナは戦略的重要性の高い金属として認識されており、新エネルギー車産業開発計画 (2021 年～2035 年) でプラチナ、ニッケル、リチウム、コバルトは中国企業に対して希少で需要のある長期供給を確保する能力を向上させる様に指導している。また日本の経済産業省も先週にウクライナ情勢を受けて、原油、化石燃料 (天然ガス、石炭)、半導体製造用ガス、パラジウム、合金鉄の 6 品目を安定供給確保のため対策を早急に講じる必要があるとしている。

NY マーカントイル取引所のプラチナ指定倉庫では昨年 7 月以降、20 トン近く存在した在庫は 10 トンまで低下しており、独立系の PGM 調査会社は中国政府の買い付けを指摘している。特に中国は国内法で、希少性の高いプラチナやパラジウムは第三国への輸出が禁じられており、減少した 10 トンはプラチナ市場から消えた事を意味している。

また世界のプラチナ生産の 7 割を占める南アフリカでは、3 年ぶりのプラチナ鉱山で賃金交渉が 4 月第 1 週から始まっており、昨年のパラジウムやロジウムの価格上昇で大幅な収益を挙げているプラチナ鉱山へ、大幅な賃上げの要求を行って来る可能性は高く、プラチナ市場には波乱な賃金交渉になると予想される

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** と **シグナル** は下げている。RCI でも **短期** が下げ止まりながら、**長期** は切り下げている。そのため下げ渋るテクニカルを受け 3800 円を維持する値動きに思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,359,000 円(2022 年 4 月 4 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 36,080 円(2022 年 4 月 4 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>